



D-NE Tの実験で町多目的航空公園上空を飛ぶヘリコプター



実験者が見詰めるD-NE Tのイメージ画

【大樹】災害時の効率的なヘリコプターの運航管理システムづくりを  
目指し、独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA、本部東京)は  
11日、町多目的航空公園で災害救援航空機情報共有ネットワーク「D-  
NET」のヘリコプター実験を行った。同ネットワークの実機を使った  
飛行実験は初めて。  
(松村賢裕)

JAXAによると、地報交換するデータリンク「国内標準規格」の開発  
上、ヘリコプター間が情報機器は国内で3種類開発  
されている。この日は患者を病院に  
が、それぞれ搬送する状況を想定し、  
の互換性ヘリコプターと救急車に  
はない。1見立てた車両を使って実  
験を行った。実験は順調  
09年5月のに進み、JAXAの公開  
阪神・淡路に東京の会場で、D-NE  
大震災以降、被災地ETを使って機体の現在  
には多くの位置をリアルタイムに映  
機体が集中し出すことに成功した。  
するため、17日には大樹町のほ  
JAXAはか、岐阜、東京の3地点  
昨年からのデータリンクの機体を飛ばし、1つのデ  
データを一元化し、情報共有する  
共有的な予備確認試験を行う

災害救援航空機情報共有ネットワーク

JAXAが初の実機実験

大 樹

予定。11月に名古屋で開  
かれる国際学会、3機  
の情報共有を飛行実験に  
よって実施する。  
JAXAは、天候不良  
時や過密域での安全な  
運航を実現するシステム  
も開発中。JAXA運航

・安全技術チーム次世代  
運航技術セッションの小  
林啓三さんは「D-NE  
Tは災害時の迅速な任務  
遂行に不可欠。数年内の  
実用化を目指したい」と  
話している。